

《断熱気密の原理原則から高度な応用まで》

在来木造の新しい高断熱高気密標準工法と 超省エネ住宅の設計施工

■この研修会は
CPD認定講習会
です。(予定)

高断熱住宅技術セミナー



講師紹介



1985年 在来木造住宅の高断熱技法を発表。以後断熱耐震同時改修、「燃費半分で暮らす家」(Q1.0住宅)技法等を開発。全国700社の新住協会員を技術指導している。

室蘭工業大学 名誉教授
(社)新住協代表理事

鎌田 紀彦

- 日時 2017年9月28日(木)
10時～17時(9時30分開場)
- 会場 ビッグパレットふくしま
コンベンションホールA
福島県郡山市南2丁目52番地
電話024-947-8010
- 受講料 3000円/1名(事前振込)
- 定員 100名
- 申込みは裏面を参照ください
- 主催 一般社団法人新住協
(新木造住宅技術研究協議会)
- 後援 硝子繊維協会
福島県耐震化・リフォーム等推進協議会

プログラム

1. 在来木造の新しい高断熱高気密標準工法

プレカット、剛床、壁耐力面材など近年の在来木造工法の変化に対応する、最新の高断熱工法を紹介します。省令準耐火にも対応し、付加断熱無しで5～7地域ではQ1.0住宅も可能です。新住協がオープン工法として公開しています。

2. 超省エネ住宅(Q1.0住宅)の設計施工

Q1.0住宅とは、全室暖房で省エネ基準住宅に比べて暖房エネルギーを半分以下(4地域は45%)にする省エネ住宅です。Q1.0住宅の設計に用いる暖房エネルギー計算プログラムQPEXを使ってサッシやガラスの選択、断熱厚さの決め方など設計手法を解説します。また、福島の浜通り、中通り、会津地方の気候特性に応じた暖房エネルギー削減手法をQPEXを使って検証します。

3. 冷房エネルギー削減手法と暖冷房設計手法

QPEXによる冷房エネルギーの計算と冷房負荷削減手法について、および最近話題の床下放熱式エアコン暖冷房などを含め、暖冷房設計について解説します。

4. 特別テーマ

「飯館村災害公営住宅の高断熱化について」
いわき市 (株)邑設計事務所 陽田 秀夫氏
いわき市 豊田設計事務所 豊田 善幸氏

5. 断熱耐震同時改修工法

住宅の基本性能である耐震性、断熱性を向上させるローコストな工法を紹介します。設備改修の通常のリフォームも合わせて300～500万円の予算で断熱耐震改修を可能にします。

【お問い合わせ・お申し込み】

一般社団法人新木造住宅技術研究協議会
TEL：022-796-7501
FAX：022-796-7502

〒980-0014 仙台市青葉区本町2丁目1-8
第一広瀬ビル1階

同時開催：関連資材機器紹介展

- 断熱気密関連部品 ●最新熱交換換気
- 開口部 断熱窓/玄関 他 約10社予定

関連図書・技術資料の販売もします。

詳しくはHP 新住協 で検索してください

9月28日(木) 高断熱住宅技術セミナー参加申込書
 FAX 022-796-7502 または ✉ npo.shinjukyo@gmail.com まで

		☆11桁CPD番号
会社名		
参加者名1		
参加者名2		
FAX		
MAIL		
連絡先(携帯)		

☆11桁の建築士会CPD番号をお持ちの方は、あらかじめご記入ください。
 ※申込書受領後、受領兼請求書をお送りいたします
 ※申込締切：9/15 但し、定員到達時、締切ることがあります

◆◆◆ 会場アクセス ◆◆◆
 〒963-0115 福島県郡山市南2丁目52番地
 024-947-8010



- ①東北自動車道「郡山南インター」から約7Km 車で約15分
 - ②郡山駅からバスの場合
 JR郡山駅西口「1番乗り場」から乗車、バス停「ビッグパレット」下車
 所要時間：約15分 片道運賃：300円
- ※(栄町)柴宮団地行き以外にご乗車下さい。それ以外は全て当館を經由いたします。